

低学年に対する学力向上のための方策

薬学部 黄檗達人

近年、少子化に伴い、入学者選拔が多様化し、推薦入試や総合型選抜が多くの大学で実施されているが、入学する学生の学力水準の低下がいっそう顕著となっており、問題視されている。その一方で、薬学部においては、4年制課程に加えて6年制課程が導入され、専門性の深化と相まって、学生に求められる学力水準は、高まりつつある。結果として、留年・退学が増加傾向にあり、低学年の段階における、学力不足の学生に対する対策の検討が、求められている。対策を検討するにあたり、学力不足の学生が示す傾向を検討することは大変有意義なことを考えられる。そこで、低学年における学力不足に関し、様々な観点から考察を加えた。